

# 第6次焼津市総合計画及び 行政経営システムについて

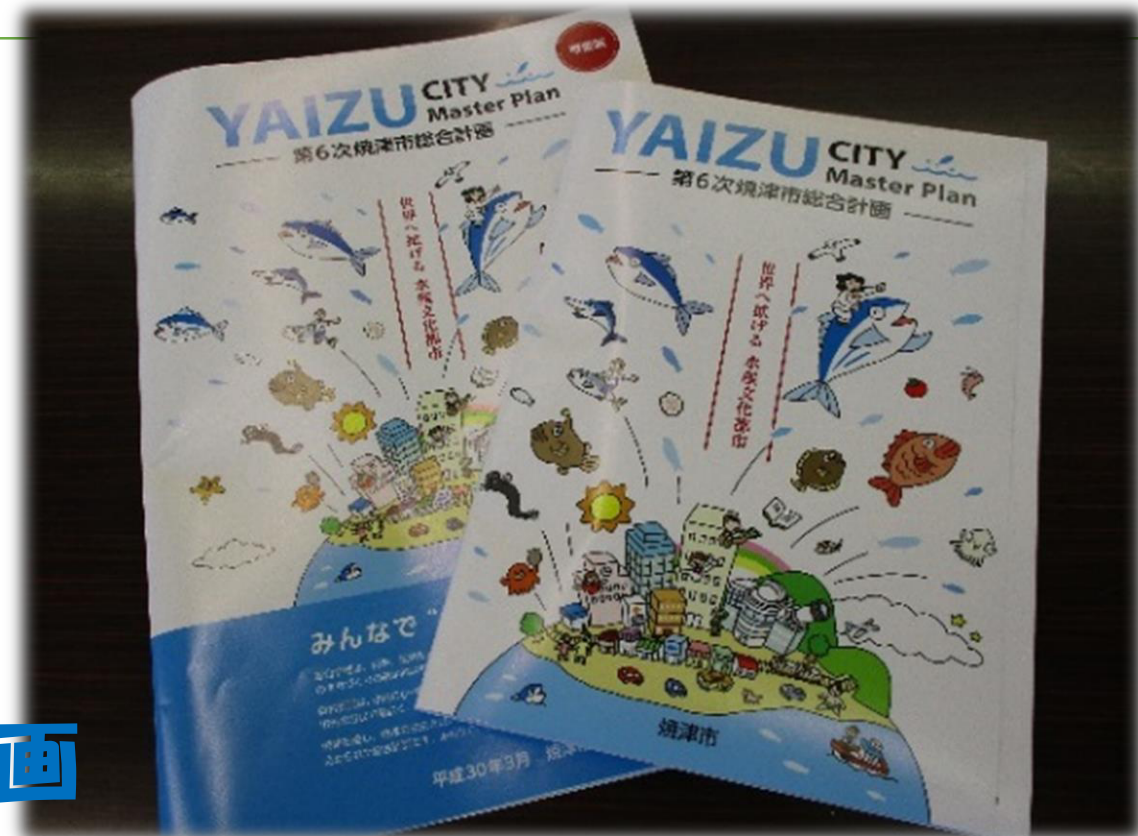
---

令和3年4月26日

# 総合計画とは

- ・総合計画は、将来、焼津市が目指すまちの姿を描くとともに、それを具体化するためのまちづくりの基本的な考えや方策をまとめたものです。
- ・現計画は、第6次焼津市総合計画です。

## 第6次焼津市総合計画



・総合計画は、市の最上位計画として、行政経営の指針であるとともに、市民・事業者などの主体との共通の活動指針としての役割を果たします。

1

## まちづくりの指針

本計画は、行政経営の指針であるとともに、市民・事業者など様々な主体との共通の活動指針としての役割を果たします。

2

## 行政経営の指針

市財政の長期的展望を踏まえながら、行政活動を総合的かつ計画的に進めていくための指針としての役割を果たします。

冊子  
P6

3

## 最上位計画としての指針

市の最上位計画として、福祉、教育、環境などの分野における個別計画を策定する際の指針としての役割を果たします。

4

## 他の機関に尊重されるべき指針

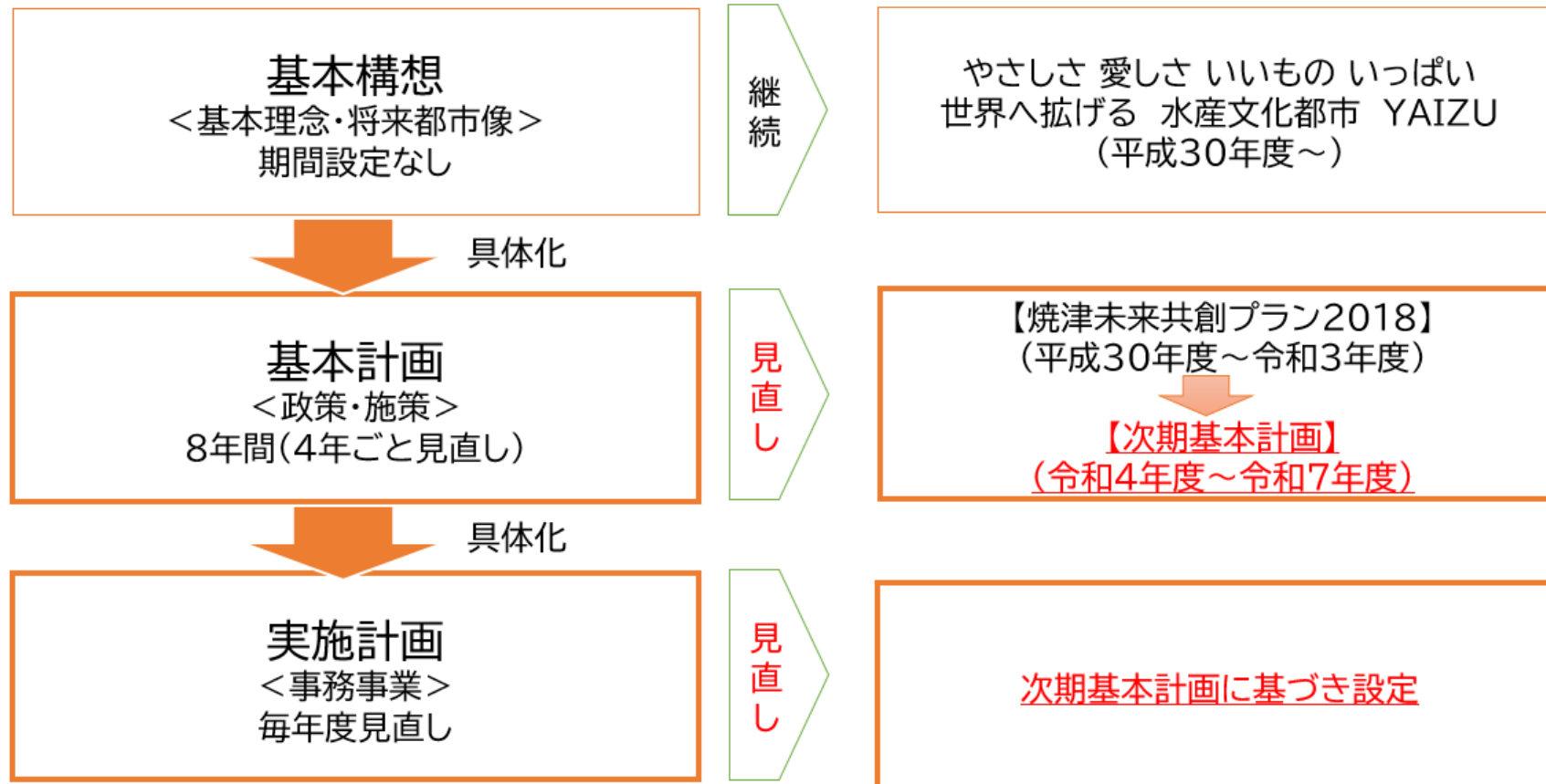
国、県などが本市に係る計画策定や事業を実施する際に、最大限尊重されるべき指針としての役割を果たします。



# 総合計画の構成

・総合計画は、「基本構想」→「基本計画」→「実施計画」の3層構造により構成しています。

## 第6次焼津市総合計画の体系図



・令和3年度は、現基本構想の実現に向け、基本計画を見直します。

■計画期間

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
基本構想	—————▶							
基本計画	基本計画（目標期間8年間）							
	◄———▶ 第1期（4年間）				◄———▶ 第2期（4年間）			
実施計画	毎年度見直し				毎年度見直し			

基本構想は、長期的な展望に基づくまちづくりの基本的な理念であり、将来都市像を定めたものです。

継続

将来都市像

冊子  
P23

やさしさ 愛しさ いいもの いっぱい  
世界へ広げる 水産文化都市 YAIZU

将来都市像に  
込められている思い

- 市民がともに支え合いながら、安全で安心して暮らせる、誰にも、地球にも「やさしい」まちを目指します。
- 「焼津を忘れない気持ち」、「焼津への郷土愛」、「焼津を好きな気持ち」を「はぐくむ」・「つなげる」まちを目指します。
- 「水産業を起点に発展した文化」を大事につなぎ（継承し）ながら、焼津の軸となる水産を始め、豊富な地域資源を「活かし」、時代に合った新たな産業やにぎわいを創造し、地域として成長していきます。
- 市民、事業者、行政がともに、市内外から広くは世界へ「水産文化都市 YAIZU」を発信し、人・モノ・情報が交流することで、「住み続けたい、住んでみたい、行ってみたいまち」をつくっていきます。



# 総合計画の基本構想策定過程

・第6次焼津市総合計画の基本構想(将来都市像)は、平成28年度に市民の皆さまと検討を重ね、誕生しました。

「将来都市像」は  
市民参加でつくりました。

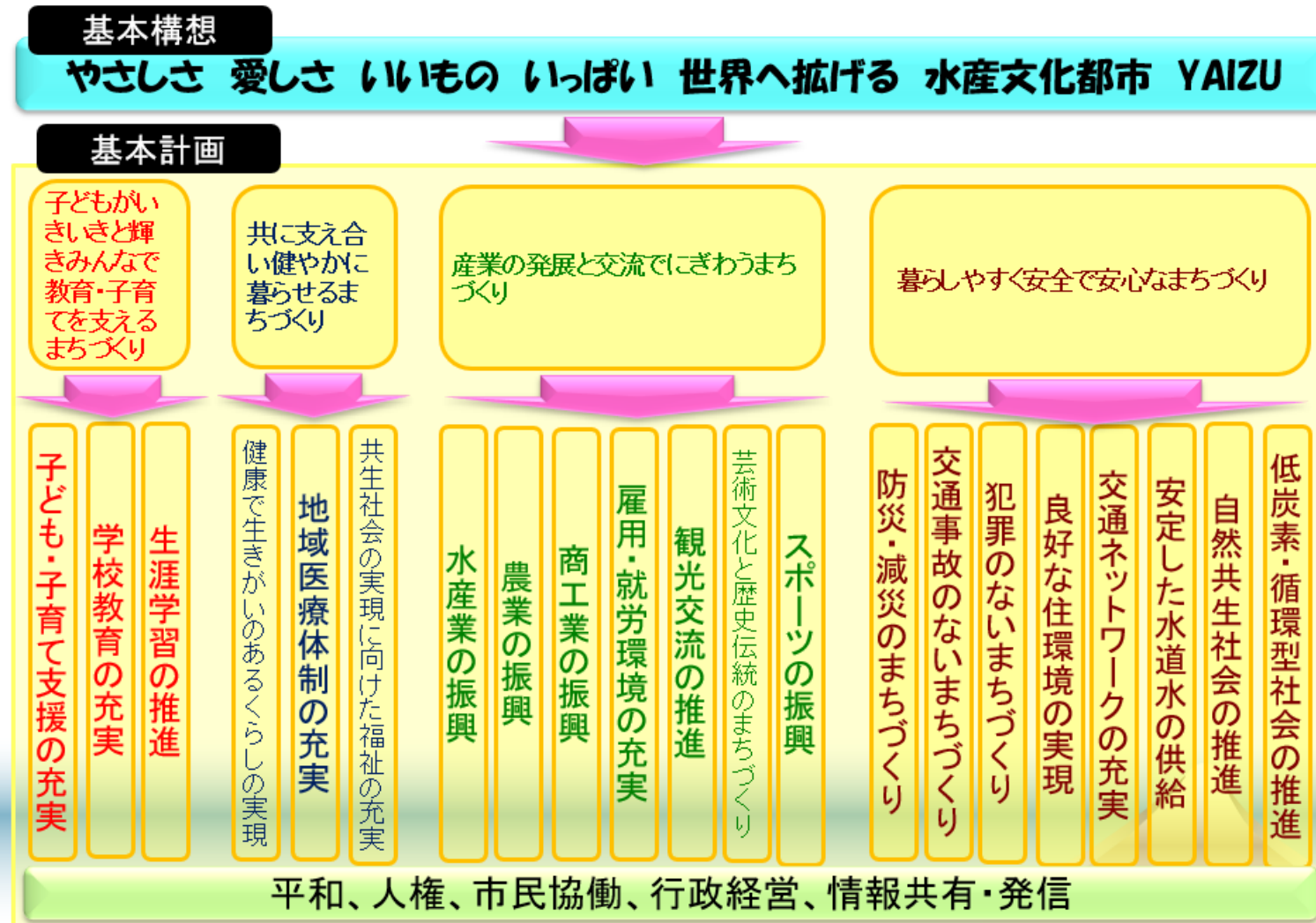


冊子  
P23

# 第6次焼津市総合計画第1期基本計画の体系



・総合計画では、基本構想(将来都市像)を実現するための基本計画として、まちづくりの基本方向を示す政策と、それを具現化するための施策を体系的に示しています。





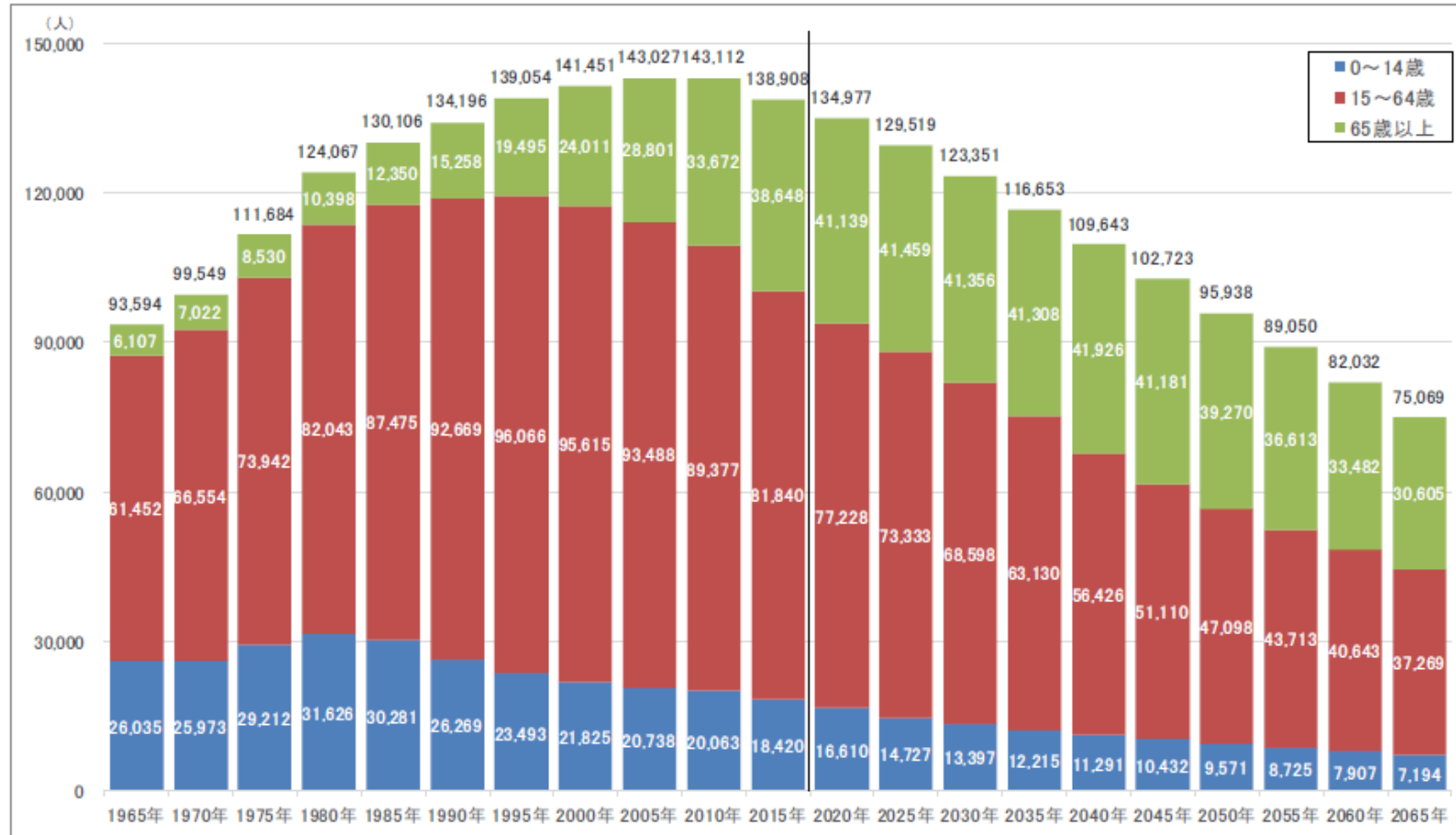
## 総合計画の策定・行政評価の根拠は・・・

### 焼津市自治基本条例

- 総合計画を策定。
- 市民参加のもとで策定。
- 市民と行政の役割を明記。
- 議会の議決。
- 行政評価により策定及び進行管理。

# 焼津市の将来の人口

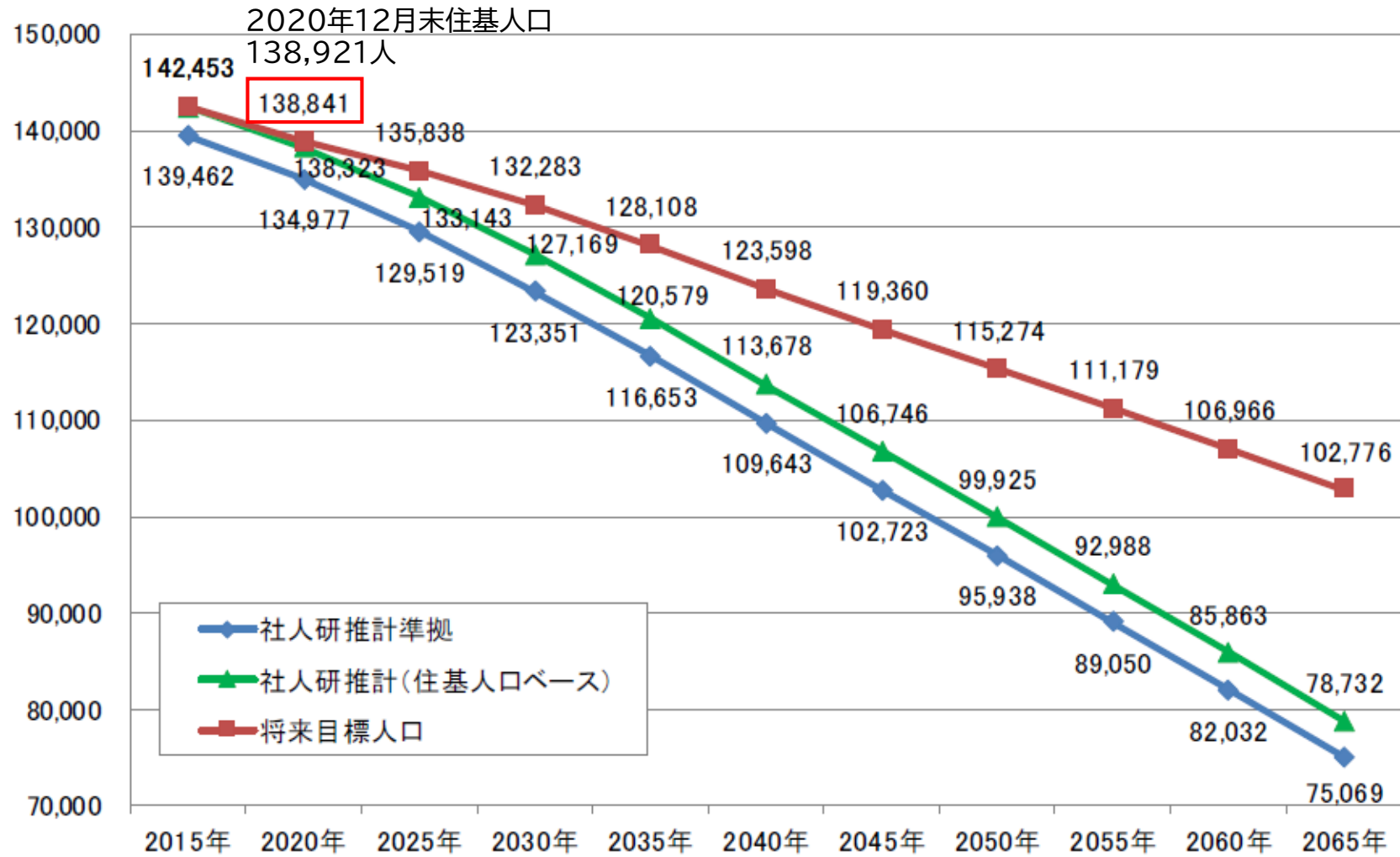
焼津市の人口の推移と推計



※2015年以前の実績値は、総人口から年齢不詳の人口を除いています。

出所：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

# 焼津市の将来人口目標



# 人口動態（自然動態・社会動態）

年	自然動態			社会動態			純増減
	出生者数	死亡者数	自然増減	転入者数	転出者数	社会増減	
平成19年	1,128	951	177	3,928	4,125	-197	-20
平成20年	1,087	1,089	-2	3,785	3,748	37	35
平成21年	1,257	1,209	48	4,007	4,072	-65	-17
平成22年	1,302	1,378	-76	4,014	3,940	74	-2
平成23年	1,236	1,358	-122	3,787	4,024	-237	-359
平成24年	1,263	1,399	-136	3,859	4,921	-1,062	-1,198
平成25年	1,147	1,389	-242	4,246	5,157	-911	-1,153
平成26年	980	1,448	-468	4,116	4,578	-462	-930
平成27年	1,065	1,546	-481	4,202	4,713	-511	-992
平成28年	972	1,495	-523	4,335	4,490	-155	-678
平成29年	900	1,563	-663	4,242	4,401	-159	-822
平成30年	903	1,621	-718	4,457	4,379	78	-640
令和元年	921	1,619	-698	4,696	4,439	257	-441
令和2年	855	1,556	-701	4,354	4,167	187	-514

# 総合計画に基づく行政運営

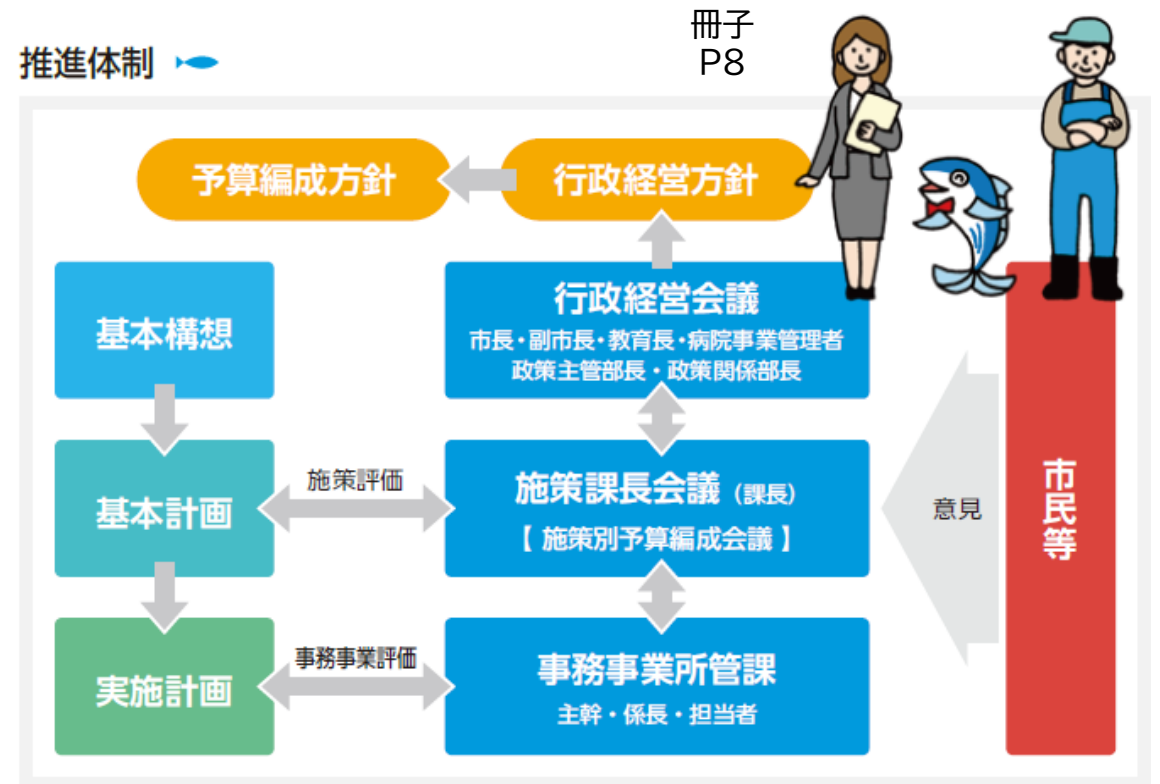
- ・市では、施策体系に基づいた事業を毎年実施しています。
- ・事業が基本構想の実現に向け、効率的・効果的なものであるかを毎年検証し、翌年度の予算編成に活かします。

## 行政評価



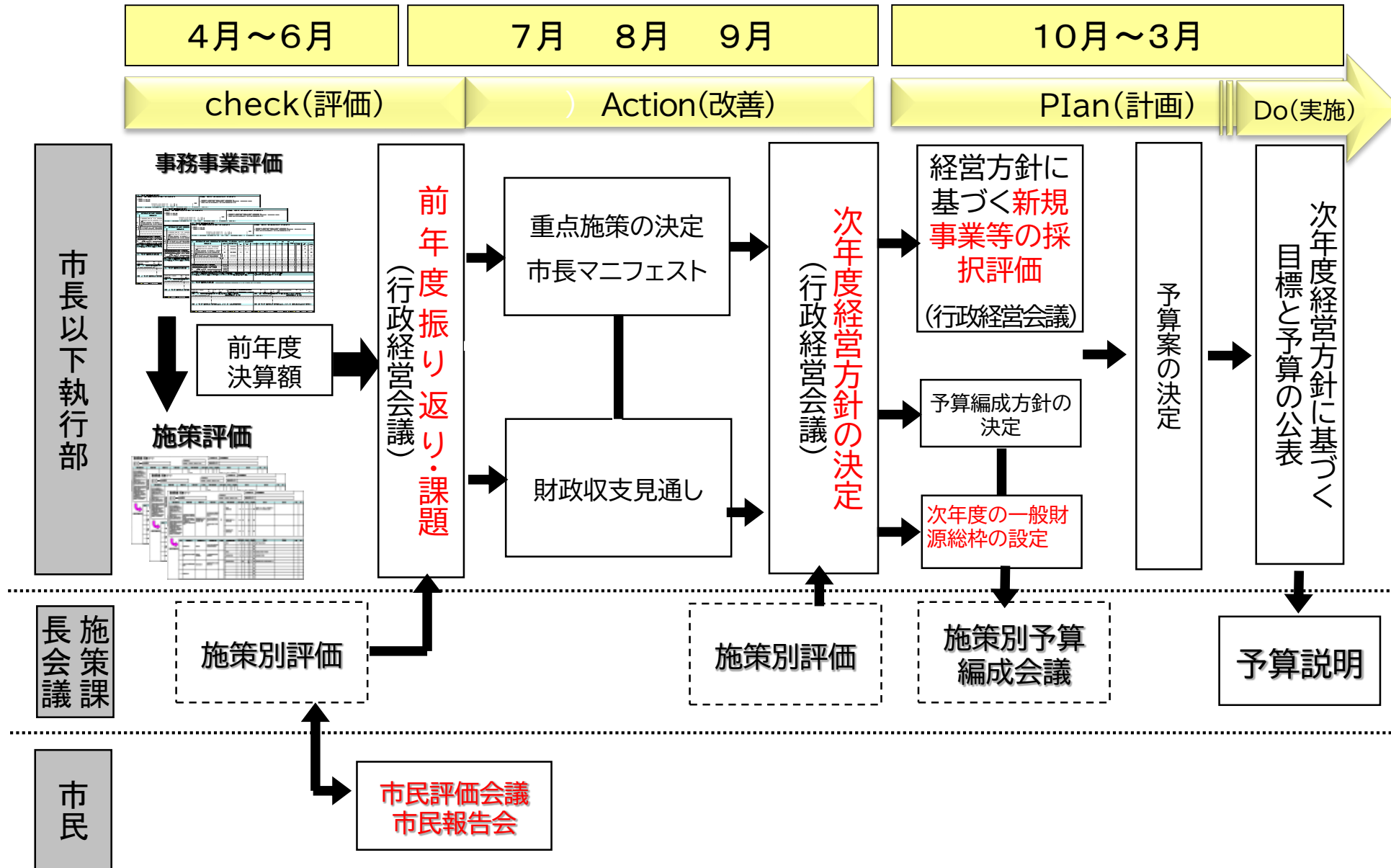
毎年事務事業を振り返り、評価します。  
評価を基に、次年度の予算編成を行います。

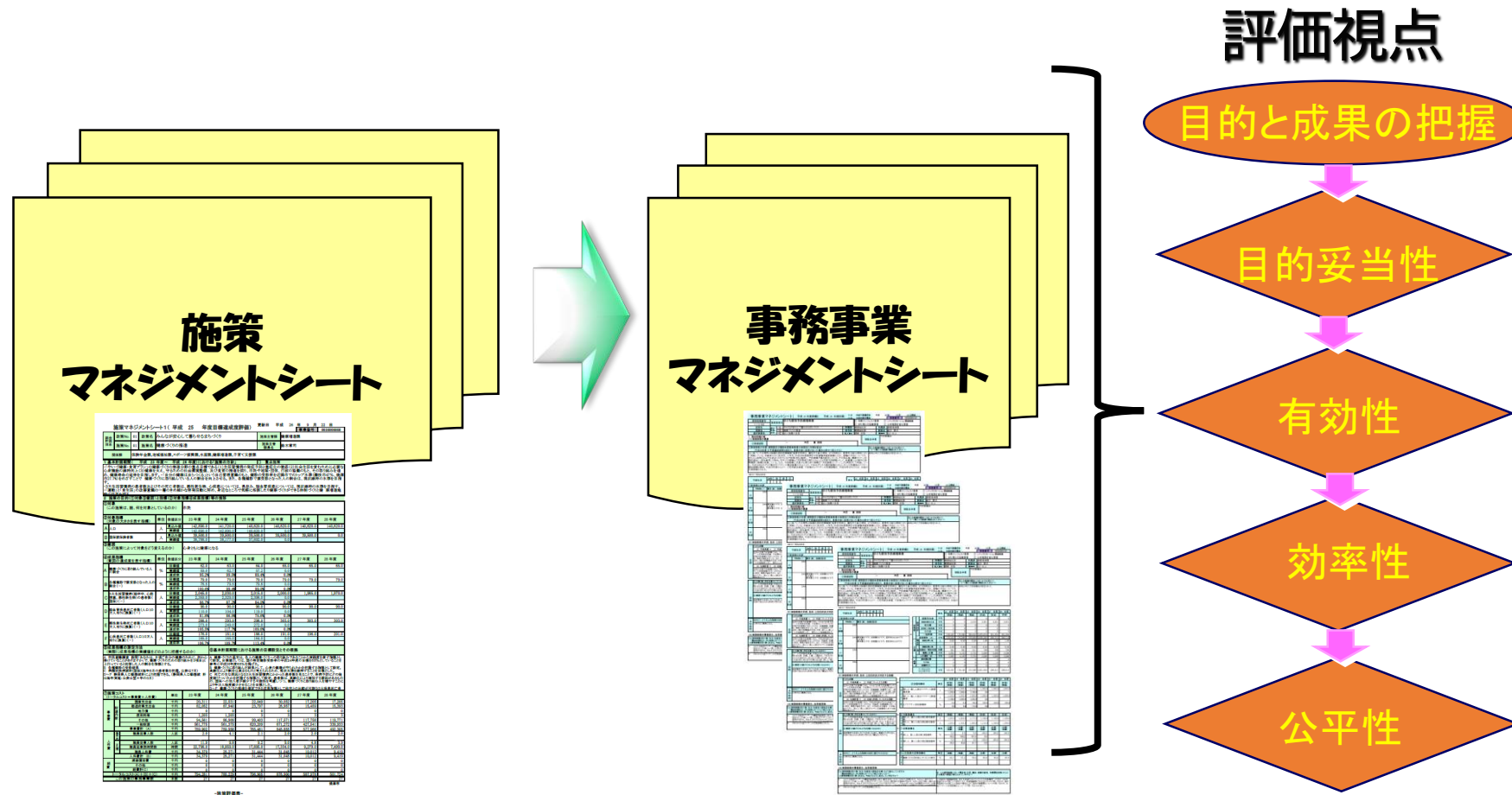
## 推進体制





# 行政経営システムの流れ





- ・行政経営会議は、総合計画や長期計画に関する事項、行政経営方針や重要な施策・事業に関する事項等について審議し、意思決定を行う。

## 会議で審議していること

### ○施策の振り返り

基本計画の前年度の振り返りと今後の課題の検証。

### ○次年度の方針

振り返り、課題及び市民会議での意見を踏まえ、次年度の行政経営方針として、各施策の取組方針及び成果・コストの方向性を決定。

### ○新規企画事業等

次年度の行政経営方針との整合性や施策成果の貢献度等を審議し、新規・拡充事業の方向性（採択・不採択等）を決定。



行政経営会議

- ・施策課長会議は、「行政経営会議」で示された行政経営方針の下、施策の推進調整を図るための組織として、施策を所管する課長で編成している。
- ・施策課長会議では、「総合計画の施策の進捗管理」を行い、予算要求時には「施策別の予算編成」を行っている。

## 会議で審議していること

### ○施策の振り返りと課題の検討

前年度の施策の振り返りと課題の検討。

### ○市民意見の聴取と施策の取組方針案の検討

市民から施策の進捗に係る意見を聴取し、これを踏まえて次年度の施策の取組方針案を検討。

### ○施策別予算の検討

施策ごとの配当された予算枠に対し、事務事業の優先度を考慮し予算編成を行う。



施策課長会議



施策別予算編成会議

## ①まちづくり市民会議

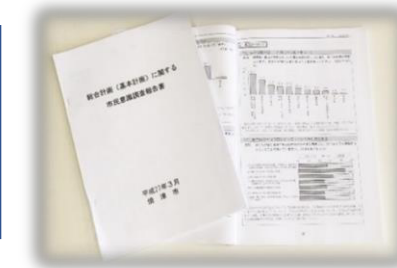
- ・毎年度、公募市民が総合計画の施策の進捗状況进行评估。
- ・公募市民は30～40名で編成している。
- ・施策課長がファシリテーターを務めるとともに、総合計画の施策の進捗状況について説明しながら、参加市民と意見交換を行う。
- ・意見については翌年度の行政経営方針につなげている。



まちづくり市民会議

## ②市民意識調査

- ・毎年度「総合計画」の施策の目標達成度を把握するために、無作為抽出の18歳以上の市民3,000人を対象に実施。



市民意識調査